

**B.A. (Honours) Examination, 2018**  
**Semester – VI**  
**Japanese**  
**Paper JP 16 (H16)**  
**(Creative Writing and Rapid Reading)**

**Time: 3 Hours**

**Full Marks: 40**

**Questions are of the value as indicated in the margin.**

**問題 I 次の中からどれか4つ選んで、答えなさい。 7X4=28**

- a. 水俣病は何ですか。水俣湾の魚はなぜ食べられないのですか。有機水銀汚染は日本以外では、どこに現れていますか。
- b. ベビーシッターとはどういう意味ですか。なぜベビーシッターが最近増えたのですか。
- c. インスタント食品とはどのような食品ですか。このような食べ物が好まれる理由は何ですか。
- d. 会社倒産の原因を説明しなさい。どんな規模の企業が人手不足倒産に追い込まれていますか。
- e. 宅配便とはどんなシステムですか。宅配便の多様化としては、どのようなサービスがありますか。

**問題 II 次の文を読んで、質問に答えなさい。 12**

東京は大変な勢いで変わりつつある。東京駅近くにあった都庁は新宿に移転し、高層ビルがまた一つ増えた。東京庁の高さは 243 m、地上 48 階建てだ。狭い土地を有効に利用するため、建物は高く高くなっていく。いまや東京に住もうと思ったら、高所恐怖症などと言ってはならない。もともと、高さを自覚しない子供が育っていくのもまた恐ろしいことだ。

東京湾 13 号の埋め立て地を中心とする「ウオーターフロント開発」で波の寄せる浜辺は姿を消し、近代的なビルが次々に建設されている。私が小学生のころ遠足でよく潮干狩りに行ったものだが、貝の生息できる浅瀬がどのくらい残っているのだろうか。地下開発による都市計画も目白押しだ。東京の近くには、すでに地下鉄網や下水管、ガス管など縦横にめぐらされている。しかし、高価な土地を有効利用するためには、上に伸びるだけでは足りず、もぐらのように深く深くもぐる。地下輸送路を作って、移動をスムーズにというわけだ。東京から大阪への移動は今のところ新幹線を利用するか、飛行機で飛ぶかだが、JR のリニアモーターカーが走るようになれば、時速 500 km で行き来でき、時間は半分になるそうだ。「ゆっくり景色を楽しみながら乗るのが楽しいのに、何を好んで地下を走るのだろう」と噴きたくなるが、東京に住んでいるかぎり、この環境の変化から逃られないよだ。

- a. 東京では、なぜ高層ビルが増えるのでしょうか。(2)
- b. 高所恐怖症とは何ですか。(1)
- c. 「ウオーターフロント開発」は風景をどう変えていっていますか。(2)
- d. 現在、東京の地下はどのように利用されていると思いますか。思いつくものをすべて書きなさい。(3)
- e. 東京地下開発について述べなさい。(4)

\*\*\*\*\*